

授業科目名	とやまの食文化			科目コード	F511-16				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 人文・社会科学系		担当教員名	中根 一恵					
実務経験									
開講時期	1年夏季集中		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	1年夏季集中		後継科目						
関連科目	選択								
資格等 取得との関連									
授業の概要	「食の宝庫」といわれる富山県が先人の知恵により育んできた食文化について、地形や自然環境を学習しながら調理実習を通して理解を深める。富山県の農水産物を使った郷土料理の調理実習より富山の食文化を体験し、富山県各地域の農産物や食文化の再発見につなげる。最終回にはワークショップを行い、「とやまの食文化を次世代に伝える工夫について」を話し合う。								
学習目標	富山の恵まれた農水産物を知り、その食材を用いた調理実習を通してとやまの食文化の特徴を学ぶ。 また、各地域における食文化の特徴を知り、レポートにまとめたり、グループでの話し合い、発表を通して理解を深める。								
キーワード	富山県 農水産物 食文化 健康								
テキスト・ 参考書等	講義資料を配布する。 参考書：『伝え継ぐ 日本の家庭料理』,別冊うかたま,一般社団法人農産漁村文化協会								
学修成果	学生が獲得すべき具体的な成果								
LO-1	とやまの食文化に関する知識を習得している。								
LO-2	講義や実習に参加し、農水産物を用いた料理の知識や技能を身につけている。								
LO-3	講義、実習で学んだ内容について自身の言葉でレポートにまとめることができる。								
LO-4	自ら考える意欲があり、実践的な展開や課題解決方法について主体的に学びを深めることができる。								
LO-5	次世代を自ら切り開くという自覚を持ち、地域の食を伝え、協力・協働を図ることができる人間性を有している。								
評価方法/ LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			80		20				100
LO-1			20						20
LO-2			10		10				20
LO-3			20						20
LO-4			20		10				30
LO-5			10						10
備考	授業に対する姿勢、関心、意欲などを総合的に評価する。 希望する方には、レポートや課題にコメントを記入し返却する。 右記のアクティブラーニングを半分以上の授業で実施します：発表、ディスカッション、実習								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、食文化総論について講義する。 食物栄養学科 准教授 半田彩実、食物栄養学科 中根一恵	
	【予習】子どもの頃の食体験の思い出について振り返る。	50分
	【復習】講義内容をまとめる。	120分
第2回	富山県富山県の食文化総論について学ぶ。 元富山短期大学 教授 稗苗智恵子氏	
	【予習】富山県の郷土料理を調べる。	120分
	【復習】郷土料理の魅力をまとめる。	50分
第3回	とやまの食と健康の関係について講義を行う。 食物栄養学科 准教授 藤田恭輔	
	【予習】とやまの食について栄養と健康の観点から調べる。	120分
	【復習】健康面から考えるとやまの食の魅力を講義の内容を参考にまとめる。	50分
第4回	とやまの魚（ブリ、シロエビ、ホタルイカ）、そのおいしさの秘密と健康性について講義する。 食物栄養学科 教授 竹内弘幸	
	【予習】どんな富山湾産の魚が売られているか、実際に魚売り場に行って調べる。	90分
	【復習】とやまの魚の魅力について、講義内容を参考にまとめる。	90分
第5回	現地に向いて食に関する学びを深める。	
	【予習】富山県の食文化の特徴を調べる。	120分
	【復習】富山県の食の特徴について講義内容を参考にまとめる。	50分
第6回	富山県内の農作物の生産状況や消費などの現状を知る。 富山県の歴史や文化を学び、とやまの食文化の今後について考える。	
	【予習】富山県で作られている農作物や漁獲されている水産物、水産加工品などについて調べる。	100分
	【復習】現地での学びをまとめる。	60分
第7回	富山県の水や米について学びを深め、富山県産の野菜や水産物を使って調理実習を行う。 食物栄養学科 准教授 半田彩実、食物栄養学科 中根一恵	
	【予習】富山県の水の特徴、米の種類などを調べる。	100分
	【復習】富山県の食材を用いた料理の特徴をまとめる。	60分
第8回	「次世代に伝え継ぐ、とやまの食文化」をテーマに受講者参加型のワークショップを行う。 「富山の食文化を次世代にどのように伝えていけたらよいか」を話し合う。 食物栄養学科 准教授 半田彩実、食物栄養学科 中根一恵	
	【予習】これまで7回の講義内容を「振り返りシート」で復習し、第8回のテーマについて自分の意見や考えをまとめておく。	120分
	【復習】ワークショップで出た意見や疑問、質問などをまとめて、レポートとして仕上げる。	60分